



JR西日本グループ 考勤の現場⑦ 新幹線 車掌篇

“いつも変わらぬ確実な基本動作”を。  
新幹線の安全な運行のために。

ドアの開閉、ホームの安全確認、車内でのお客様対応・案内放送など、車掌の業務は様々ですが、最も注意を払うのがドアを閉める時です。駅係員からのお客様の乗降終了の合図を目と耳で確認した後、もう一度、異常がないか確かめ、さらにひと呼吸おいてドアを閉める。それら一つひとつに指を差し、声を出すなど、いつも変わらない確実な基本動作を行い、新幹線の安全を築いていきます。



安心と信頼のために、  
できることのすべてを。